

ニュージーランド・タハロア村の「命運」をかけた
日本郵船向け

スラリー式砂鉄運搬船 “タハロア デスティニー”



三菱重工 長崎造船所建造

三菱重工は5月11日、長崎造船所 香焼工場（長崎県長崎市）において、日本郵船向け17万5000重量トン型スラリー式砂鉄運搬船“TAHAROA DESTINY”（タハロア デスティニー）を竣工した。本船は、陸側とパイプラインで結び、水と砂鉄を混ぜたスラリーを陸側からポンプの圧力で本船に送り込む荷役方式を採用するなど、高度な運航・荷役技術が要

求される特殊な船となっている。

今回は、三菱重工 船舶・海洋事業本部の大竹和彦 船海技術総括部 長崎船海技術部 設計総括、日向泰彦 船海技術総括部 長崎船海技術部 計画設計課 主任（基本計画）、大西尊士 船海技術総括部 長崎船海技術部 船装設計課 管艀チーム 主任に本船の特長や建造過程を振り返ってもらった。